

# しぶさわしょう 第58回澁澤賞 受賞

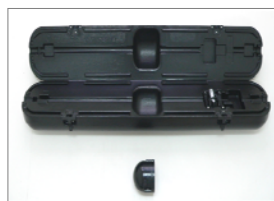
『電柱支線用かずら巻き防止具の開発』  
九州電力株式会社共同研究開発品

## 電柱支線用かずら巻き防止

山間部等で“かずら”というツル植物が、電柱を支える支線をつたって電線に接触するのを防ぐ為に『電柱支線用かずら巻き防止具』が取り付けられています。以前は台風など強風の際に製品が変形したり、ズレ落ちてしまう事があったため、電力会社等による継続したメンテナンスが必要でした。

今回の開発では、本体の中で止め具を分離させる事で、本体が風圧を受けても止め具には伝わりにくい構造にしました。

本体の形も円柱から三角柱へ変える事で、風向きによって本体方向が定まる様になり、また従来よりかずらがつたいにくくなった事で信頼性が向上しました。その結果、メンテナンスの必要もなくなり、停電事故の防止にもつながった為、九州電力各営業所様において、開発の効果を発揮しています。



■ 支線に固定する止め具とそれを覆う様に取り付ける本体を分離させた事で、本体が回転し強風にも柔軟に対応できる製品となった。



■ “ツル”が地面から支線をつたい上がってくるのを止める事で、停電事故の防止に効果を発揮している。

## 澁澤賞とは…

しぶさわもとじ

澁澤賞は、故澁澤元治博士が昭和30年に文化功労者として表彰を受けられた栄誉を記念するため、昭和31年に設けられたものです。

澁澤元治博士は通信省に18年間にわたる在任中、「電気事業法」他2つの制度の確立に尽力されました。また、教育分野においても東京帝国大学電気工学科の講師や教授を歴任し、名古屋帝国大学の初代総長として創設に奔走されるなど28年間にわたり、電気工学の教育に半生をささげられました。その栄誉を記念し、現在では電気保安の有効なシステム、機器の発明工夫、電気に関する技術規格・基準の改制定、学術研究、人材育成や長く電気保安確保に貢献をされた方に澁澤賞が贈られています。